



恐竜のまちづくり最前線

パート 11



今後は恐竜化石を活かしたまちづくりを皆さんと一緒に考える取り組みが始まります。

放課後子ども教室で「恐竜・化石教室」を実施しました

地元小学生の恐竜・化石への関心を高める活動の一環として、地域おこし協力隊では10月に放課後子ども教室や通学合宿に参加する町内の小学生を対象にした「恐竜・化石教室」を実施しました。鶴川・穂別両地区で行われている放課後教室では、恐竜とはどんな生き物なのか、むかわ恐竜はなぜ注目されているのかということについて、恐竜の実物大シートや穂別博物館の化石標本を使って体感してもらいました。

今年が2回目の実施となる通学合宿では、穂別市街の街路樹になっている生きた化石メタセコイアのレプリカ作りを通して、化石だけでなく町の歴史にも興味を持ってもらえるように内容を工夫しました。

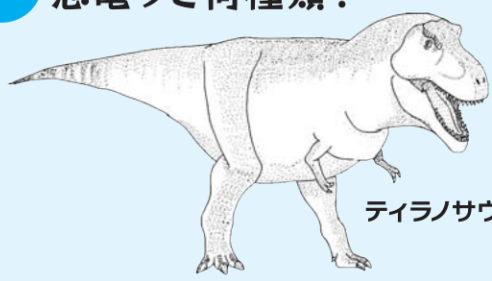


ティラノサウルスの頭骨を実物大で再現!

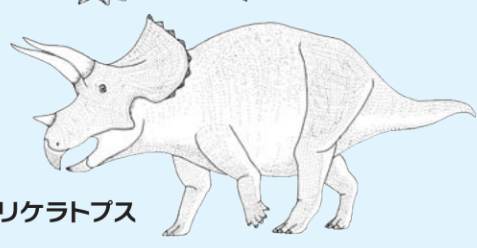
今後は講座の内容にさらに磨きをかけ、より幅広い世代の人が楽しめるようなものを作っていきたいと考えています。

column

恐竜って何種類?



ティラノサウルス



トリケラトプス

あなたの知らない恐竜も登場するかも…?

これまでに見つかった恐竜はおよそ1000種と言われています。みなさんは恐竜の名前をいくつ知っていますか? ティラノサウルス、トリケラトプス、ステゴサウルス…おそくは1000種のうちの、ほんのひとつまみではないでしょうか。

先月号でお知らせしたとおり、むかわ恐竜は白亜紀最後期のマーストリヒチアンという時代の恐竜です。この時代には、ティラノサウルスやトリケラトプスなど恐竜の中でもほんのひとつまみの、しかもトップクラスの知名度を誇るものたちも生きていました。つまり、むかわ恐竜とティラノサウルスは同じ時代に生きていたのです!

これからこの誌面で、むかわ恐竜と同じマーストリヒチアンに生きていた恐竜を紹介していきたいと思います。マーストリヒチアンには、一体どのような恐竜たちが暮らしていたのでしょうか。次回をお楽しみに!

担当: 太田晶 (地域おこし協力隊)

人々の動き

平成27年10月31日現在

- ▶ 人口 **8,815人 (-3)**
- ▶ 男性 4,339人 (5)
- ▶ 女性 4,476人 (-8)
- ▶ 鶴川地区 5,993人 (4)
- ▶ 穂別地区 2,822人 (-7)
- ▶ 世帯 **4,433世帯 (5)**

※()は前月比。住基法の改正により、外国人数を含みます。

平成27年10月1日～31日			
出生	3人	死亡	12人
転入	36人	転出	30人

交通死亡事故ゼロ日数

平成27年10月31日現在



雪道で運転する際には、クルマの運転方法だけでなく、滑りやすいポイントを事前に知っておくことも重要です。事故の起こりやすい場所として、もっとも危険なのが、風通しのよい橋の上やトンネルの出入り口付近です。他よりも気温が低いため、路面が凍結しやすく、大変危険です。そのような場所では、手前で十分にスピードを落とし、慎重に走行する必要があります。

